

■主な重点推進事業の予算額

1 安全・安心プロジェクト

除染対策事業	126億323万円
うち民間宅地等除染対策事業	110億8,612万円
消防団員運営事業	1,035万円
消防車両等整備事業	7,000万円
消費者行政事業	465万円

2 健康・福祉・医療プロジェクト

白河っ子応援事業	960万円
産後健診事業 (妊産婦健康検査事業)	276万円
一時預かり事業	66万円
予防接種事業	1億7,232万円
延長保育事業(保育園運営事業)	2億8,845万円
放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	9,467万円
救急医療体制強化支援事業	2,010万円
みんなが安心できる地域医療づくり事業	134万円
小児平日夜間救急医療事業	146万円
高齢者サロンあったかセンター事業	351万円

3 産業・雇用プロジェクト

ふるさとビジネス応援事業	1,790万円
アグリビジネス連携事業	500万円
周遊型観光推進事業	2,832万円
創業支援資金融資制度推進事業	1,279万円
次世代自動車普及促進事業	886万円
人・農地相談センター事業	824万円
企業立地奨励金事業	1億2,394万円
がんばるぞしらかわ農産物販売促進事業	1,074万円
大信地域市民交流センター建設事業	3億7,958万円
こども夢フェスタ支援事業	2,000万円
ふくしまデザインেশョンキャンペーン推進事業	800万円

将来のために、魅力ある地域と人づくりに力を入れているんだ！



4 教育・生涯学習プロジェクト

小学校スクールバス購入事業	2,239万円
南湖公園史跡整備事業	4,688万円
学校図書館利活用推進事業	1,368万円
土曜学習推進モデル事業	64万円
学校基礎学力向上推進事業 (小・中学校)	3,182万円
白河の歴史再発見！事業	98万円
釜子小学校建設事業	3億7,197万円
白河中央中学校建設事業	8億3,410万円
市民文化会館建設事業	40億4,560万円
小峰城跡災害復旧事業	12億5,667万円
特別企画展「大 定信展」開催事業	500万円

5 都市基盤プロジェクト

道路除雪事業	1億8万円
循環バス運行事業	2,723万円
水道管更新事業(生活基盤近代化事業)	1億7,520万円
丹羽長重廟周辺整備事業	6,632万円
旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	5,835万円
道路新設改良事業	6億3,043万円
街路事業	2億2,626万円
公営住宅ストック総合改善事業 (市営住宅改修)	2億1,762万円
公共下水道管路施設整備事業	5億7,335万円

6 環境・コミュニティプロジェクト

まちづくり・ひとづくり事業	600万円
空き家等実態調査事業	1,200万円
地域おこし協力隊活用事業	908万円
ふるさと納税推進事業	161万円
集会所整備事業	1億4,217万円
地域の底力再生事業	1,061万円
農業用施設整備“結”支援事業	2,800万円

◎地方創生元年を迎えて

平成27年度当初予算

市では、毎年6月と12月に財政状況をお知らせしています。今月号では、平成27年度当初予算、重点推進事業の予算額や市債・企業債および基金の状況などをお知らせします。

市公認キャラクター「ダライザー」



今年度はどんな予算になっているか見てみよう！

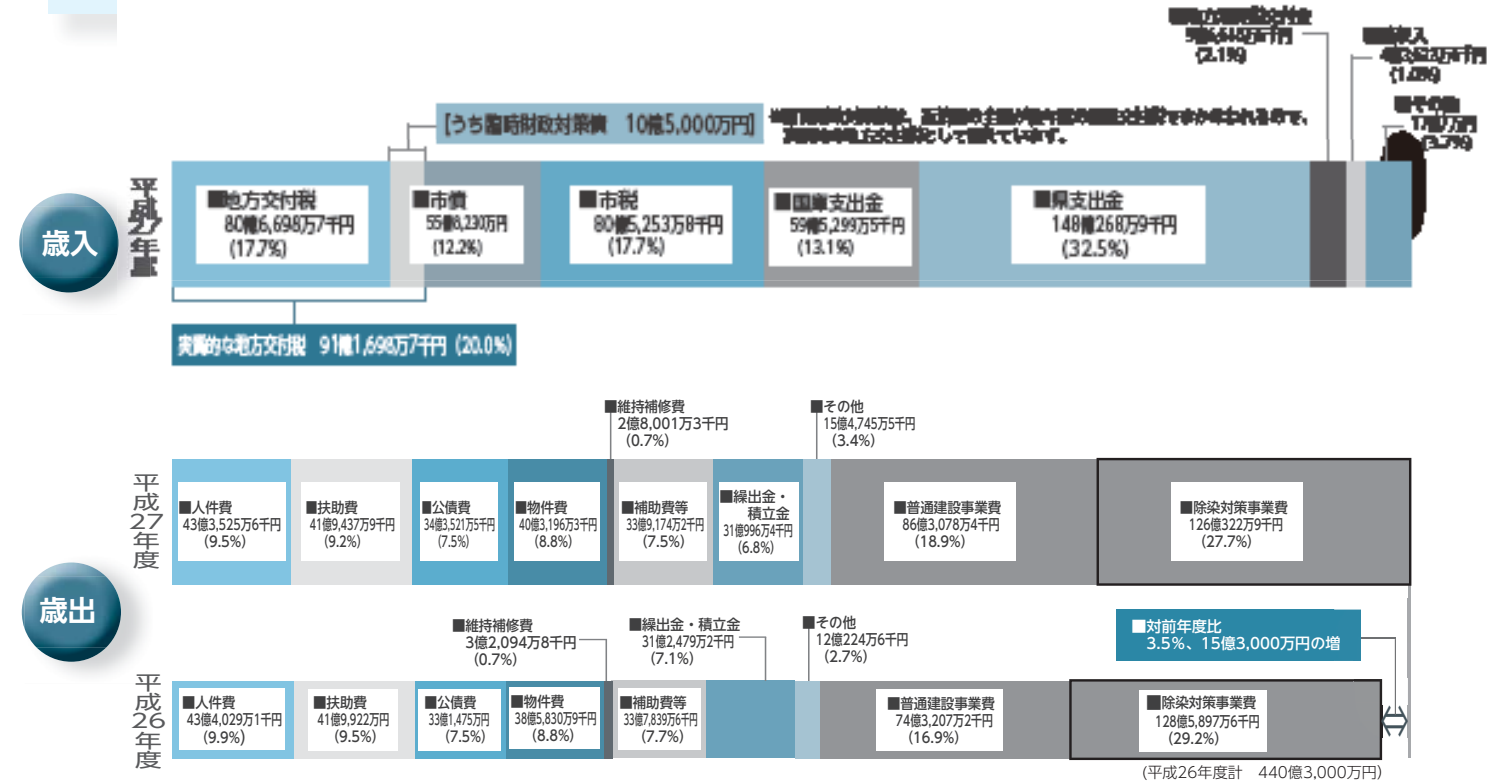
■予算の概要

今年的一般会計予算の総額は、過去最大規模となった前年度をさらに上回る455億6千万円となりました(対前年度比:3.5%、15億3千万円の増)。なお、臨時的な経費である除染対策費約126億円を除いても、前年度を5.7%上回り、6年連続で総額が伸びました。

特徴

本市にとって、今年は合併10周年の節目の年であるとともに、国が掲げる「地方創生」元年でもあります。活力ある白河の未来を切りひらいていくために、「産業の振興」「子育て支援」「人づくり」「地域医療体制の充実」を最重点施策として配分しました。

455億6千万円の過去最大規模予算



■市民1人当たり・1世帯当たりの市税の負担とサービスの状況

◇1人当たりでは？

*市税の負担 127,956円
*市民へのサービス 723,956円
(うち除染対策分 200,267円)

◇1世帯当たりでは？

*市税の負担 333,397円
*市民へのサービス 1,886,308円
(うち除染対策分 521,808円)

目的別に分類した1人当たりの金額を見てみよう。



■1人当たりに使われるお金(723,956円)の内訳

歳出予算額を行政の目的別に分類し1人当たりの額を算出したものです。

衛生費 225,033円



各種検診や予防接種、ごみ処理、除染など

教育費 134,702円



幼稚園、小・中学校の学校教育、社会教育や文化財の保護など

民生費 121,935円



高齢者福祉や児童福祉、保育園運営、生活保護など

公債費 54,480円



道路整備や学校建設などを行うために国などから借入れたお金の返済

土木費 51,278円



道路の舗装や維持補修、河川や公園の整備、市営住宅改修など

総務費 47,218円



庁舎の維持管理、行政の電子化推進、市税の徴収など

農林水産業費 26,908円



農業の振興を図るための支援や生産基盤整備など

商工費 21,987円



商工業の振興を図るための支援、企業立地、観光など

災害復旧費 19,969円



災害によって生じた被害の復旧など

消防費 14,322円



防火・消火活動、消防車両の整備、防災活動など

議会費 4,989円



議会の運営、議員の報酬など

労働費 340円



労働者福祉、職業訓練など

その他 795円

財政状況および財政計画の概要は、市ホームページ (<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>) でも公表しています。

☎本庁舎財政課 ☎1111 内 2332

ホームページでも公表中!



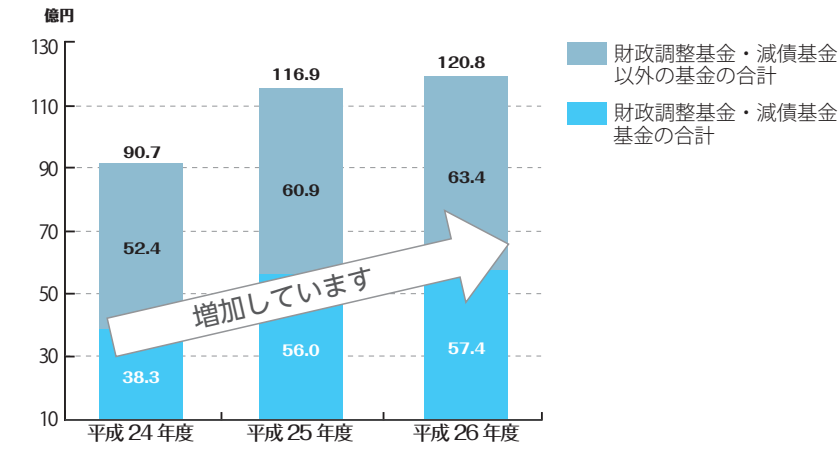
住民基本台帳人口・世帯数
(平成27年3月31日現在)
人口 62,932人
世帯 24,153世帯

■基金の推移

市の「貯金」に当たる基金は、教育・文化の振興や住民福祉の向上など、目的に応じて有効に活用しながら、将来の健全な財政運営のため、着実に積み立てを行っています。

なお、市民1人当たりで換算すると19万2千円になります。

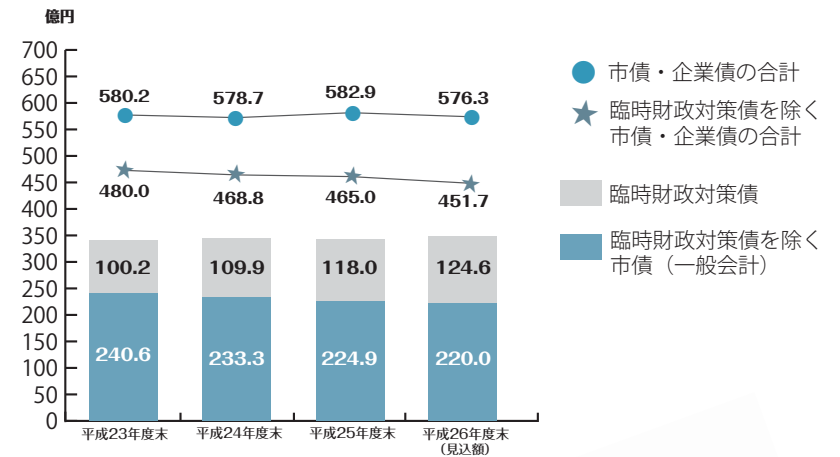
- 財政調整基金
予期しない収入減少や支出増加に備えるなど、長期的視野に立った計画的な財政運営のために積み立てる基金。
- 減債基金
市債の償還を計画的に行うために積み立てる基金。



■市債・企業債残高の推移

市の「借入金」に当たる市債(臨時財政対策債を除く)・企業債は、計画的な借入と返済を行うことで、減少傾向にあります。

市民1人当たりの市債等残高(借入金)は、合併翌年度(平成18年度)には86万1千円でしたが、今年度は76万8千円となる予定です。



■特別会計

会計名	予算額	対前年度比 %
国有林野払受費	18万5千円	0.0
教育財産	56万8千円	0.7
小田川財産区	81万5千円	△12.8
大屋財産区	15万0千円	1.4
樋ヶ沢財産区	30万1千円	0.7
土地造成事業	4,745万2千円	△30.2
国民健康保険	77億5,285万5千円	15.0
後期高齢者医療	5億7,385万8千円	6.5
介護保険	51億6,038万5千円	5.3
地方卸売市場	2,628万6千円	2.2
公共下水道事業	20億5,937万2千円	△9.7
農業集落排水事業	8億2,273万2千円	△1.4
個別排水処理事業	1億841万3千円	△8.1
簡易水道事業	4億2,324万3千円	29.2
合計	169億7,661万5千円	7.2

■公営企業会計

会計名	予算額	対前年度比 %
水道事業	15億4,517万8千円	△1.6
工業用水道事業	1億452万5千円	△7.8
合計	16億4,970万3千円	△2.0

これからも貯金を増やし借入金を減らしていくには、しっかりした将来設計が大切だ。

